

H

A

N

D

A



第3編 ● 基本計画

第1章

学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち

基本施策1 育ちの支援..... 30

- 1 子どもと子育て家庭 ... 31
- 2 幼児教育・保育 31
- 3 義務教育 32

基本施策2 学びの応援..... 34

- 1 学びの推進 35
- 2 文化の振興と継承 35

1 育ちの支援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 子どもたちが夢や目標を持ち、豊かな人間性・社会性、健やかな心と体が育まれています。
- 地域に見守られながら、子どもたちが安心・安全に楽しく、充実した生活を送っています。

基本成果指標

	単位	計画策定時		現状値	目標値
		年度	基準値	2024（R6）年度	2030（R12）年度
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	%	2019（R1）	82.1（小6） 65.6（中3）	82.0（小6） [83] 65.9（中3） [68]	85（小6） 70（中3）
半田市で子育てをして良かった、子育てをしたいと思う市民の割合	%	2020（R2）	52.6	48.4 [60]	65

[]内の数値は計画策定時の2025（令和7）年度目標値

現状と課題

- 夫婦共働き家庭の増加や子どもを取り巻く環境の変化に対応するため、安心・安全な放課後等の子どもの居場所が求められています。
- すべての子どもたちが健やかに成長するために、子育て家庭が孤立しないよう、地域と連携した子育て支援事業の充実が必要です。
- 低年齢児保育や幼保一体化、延長保育、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育、特徴ある教育・保育など多様化するニーズへの対応が求められています。
- 年度途中に発生する低年齢児の待機児童対策が必要です。
- 市内には、普通科のほか、農業・工業・商業などの専門学科を学ぶ高等学校、大学など多様な教育施設があり、教育環境が充実しています。
- グローバル化、ICT化など多様化する学習内容・学習形態の変化に対応することが必要です。
- 児童生徒の抱える悩みや様々な問題に対し、柔軟に取り組むことが必要です。
- 本来の教育活動に必要な時間を生み出す教員の働き方改革が必要です。
- 学校を始めとする各施設の老朽化が進んでいるため、施設・設備の改修・更新が必要です。

単位施策・個別施策

1 子どもと子育て家庭

① 切れ目のない支援体制の充実

安心して子どもを産み育てられるよう、必要な知識や子育て情報を提供するとともに子育て家庭に寄り添い、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目なく支援します。

② 健全育成のための環境づくり

子どもたちが心身ともに健やかに育つための良好な環境を保ち、放課後等の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。

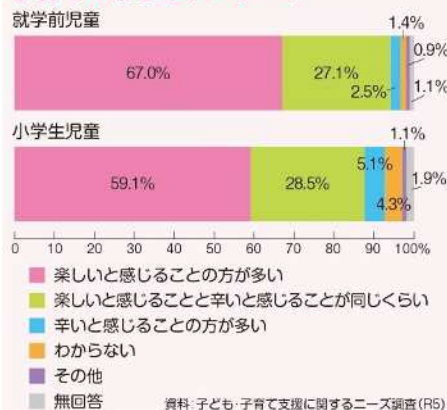
③ 子どもの個に応じた支援の充実

すべての子どもが自分らしく成長できるよう、子どもや家庭に必要な配慮やきめ細やかな支援を実施します。

④ 地域で子育てを支える仕組みづくり

子育て家庭が孤立することなく安心して子育てができるよう、身近な地域で支える関係や仕組みづくりを進めます。

子育ての楽しさアンケート



リーディング事業

- 母子保健・子育て支援サービス利用者支援相談事業
- 地域子育て支援拠点事業
- こんにちは赤ちゃん訪問事業
- 放課後児童健全育成事業
- 小学校児童放課後等居場所づくり事業

2 幼児教育・保育

① 幼児教育・保育の質の向上

職員研修の充実などにより教育・保育の質の向上を図り、幼児期に必要な力を育てます。また、幼保小中・家庭・地域との連携、子育て相談、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育などを推進します。

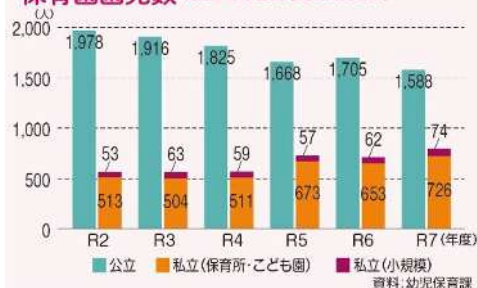
② 幼児教育・保育の環境づくり

公立保育園等において、老朽化する施設の建替え・大規模修繕を進めるとともに、身近な地域で、保護者の就労の有無によって区分されることなく、等しく教育・保育を受けることができる「こども園化」や保護者の多様な教育・保育ニーズに対応するために「民営化」を行います。また、あわせて待機児童の解消を図ります。

幼稚園園児数(認定こども園短時間利用児含む)



保育園園児数(認定こども園長時間利用児含む)



リーディング事業

- こども園化事業
- 公立保育園等民営化事業
- 民間保育所運営事業・地域型保育事業
- 児童発達支援センター地域支援事業



3 義務教育

① 教育の質の向上

すべての子どもがそれぞれの「幸せ」について考え、個性を活かした「生きる力」を身に付けられるよう、キャリア教育を基盤とし、学習指導要領等に基づいた教育活動の実施により確かな学力・豊かな心・健康な体を培い、一人ひとりの個性や可能性を伸ばします。また、学校・家庭・地域が連携を図り、地域全体で子どもたちの成長を支えます。

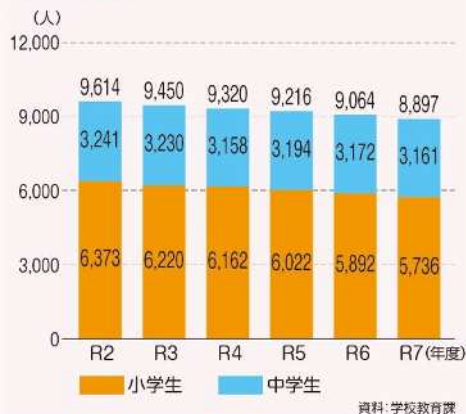
② 個に応じた教育の充実

いじめや不登校等の対策、障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもへの支援など、子どもたちの不安や悩みを解消できる体制を整え、個に応じた教育の充実を図ります。

③ 学校環境の向上

安心・安全な環境の確保や、ICT化などの学習形態の変化に対応するとともに、地域コミュニティの核としての役割や、各施設の在り方に相応しい環境づくりを目指した施設の更新（長寿命化改修・改築）を計画的に進めます。

児童生徒数



リーディング事業

- キャリア教育推進事業
- コミュニティ・スクール推進事業
- 学校生活支援事業
- いじめや不登校等対策事業
- 小中学校情報機器整備事業
- 学校施設更新等事業

- 1 小学校の利用状況や更新計画にあわせて、学校内に子どもの居場所を整備します。
- 2 放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一地域共創センター」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。
- 3 保育園等公民連携更新計画に基づき、公立保育園の民営化を進めます。
- 4 小学校の水泳指導について、時期や天候に左右されない授業運営とインストラクターによる専門性の高い指導が可能となる屋内温水プールを活用した水泳授業実施校の拡大に取り組みます。
- 5 子どもたちが学校生活でストレスや不安を感じたときに安心して過ごせる校内の居場所を整え、心穏やかに学びの場に戻れるよう支援します。

関連
個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 障がい児福祉計画
- 保育園等公民連携更新計画
- 教育大綱
- 学校教育HANDAプラン
- 小中学校施設長寿命化計画



関連するSDGs



学びの応援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 生涯にわたり学び続けられる環境が整い、市民が互いに高めあう仕組みができています。
- 市民が多様な文化芸術に触れ親しみ、その価値を見出すことができています。
- 半田の誇る貴重な財産である山車を始めとする文化財や、新美南吉文学を始めとする文化が次世代に継承されています。

基本成果指標

	単位	計画策定時		現状値	目標値
		年度	基準値	2024 (R6) 年度	2030 (R12) 年度
学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	2020 (R2)	16.1	27.2 [35]	70
文化芸術を鑑賞した市民又は創作活動等に参加した市民の割合	%	2020 (R2)	35.3	78.2 [45]	85 【55】
半田の歴史や文化に関心を持っている市民の割合	%	2020 (R2)	49.8	50.4 [55]	60

[]内の数値は計画策定時の2025 (令和7) 年度目標値

【 】内の数値は計画策定時の目標値

現状と課題

- 生涯学習の分野にも社会的包摂の視点が求められています。
- 働き方や生き方の多様化、技術革新など急速な社会の変化に対応するため、リカレント教育（学び直し）の必要性が高まっています。
- 学びを様々な形でまちづくりに活かせる仕組みが必要です。
- 誰もが利用しやすい学びの環境を整え、より多くの市民に学びの大切さを発信していくことが必要です。
- 各機関との連携を強化し、ボランティア団体をはじめとした読書推進の担い手を確保しながら、乳幼児期からの継続的な読書支援が必要です。
- 誰もが文化芸術を鑑賞でき、また、表現できる場所や機会の充実が必要です。
- 市の誇る文化や文化財を保存・継承するための資金調達や担い手の確保が困難になっています。
- 文化財を保存・継承する担い手を育てるには、幼少期から文化や文化財に触れ親しむことができる機会の創出が必要です。

単位施策・個別施策

1 学びの推進

① 市民の学び場づくり

地域や教育機関、企業等とともに、誰もが学びたいときに学べる環境を整え、その成果をまちづくりに活かす仕組みをつくります。また、学びのきっかけや学び直しにつながる機会の拡充と情報発信により、市民の学び意欲を高めます。

② 学びを育む読書支援

学びの習慣が身につくよう、乳幼児期からの継続的な読書支援や知的好奇心を育てる学習機会の充実を図り、市民の学びを支えます。



あかちゃんとしょかんの様子

リーディング事業

- 生涯学習推進事業
- 読書活動推進事業
- 各種企画展開催事業

2 文化の振興と継承

① 文化に触れ親しむ環境づくり

誰もが文化芸術についての価値を見出せるよう、触れ親しめる機会をつくります。また、市民が文化・芸術活動を活発に行えるよう支援します。

② 文化財の保存と継承

市民の財産である文化財を保存・継承するため、資金調達と担い手育成を支援します。また、郷土資料の収集、調査、保存に加え、親しみやすい形で情報を発信することにより、市民の文化的教養や保護意識を高めるとともに、文化財の活用を推進します。

③ 地域文化への愛着と誇りの醸成

半田の特色である山車や醸造・発酵などの歴史・文化、全国に知られる新美南吉文学などへの市民の愛着を高めます。また、観光分野などと連携し半田の特色を広く発信することで、市民の郷土への誇りを育みます。

文化施設来館者数



リーディング事業

- 音楽のあるまちづくり事業
- 文化芸術普及推進事業
- 文化振興事業
- 文化財保存修理等事業
- 文化財等公開活用事業
- 新美南吉童話賞事業



- 1 中高生等の身近な地域での学習の機会を確保するため、公共施設や民間施設などに学習スペースを整備します。
- 2 中学生の放課後活動として、地域と連携し、多様な活動に親しむ機会を拡充します。
- 3 図書館と学校の連携により地域開放型の学校図書館の整備を目指し、地域における読書活動の拠点をつくり、市民の学びを支えます。
- 4 文化財の保存団体との協働により、祭礼・山車文化をより身近に感じられるよう、体験型の展示や講座等を行います。
- 5 「日中埜家住宅」を始めとした市内の貴重な文化財について、高校生や大学生などの若者が学び触れ親しむ機会をつくり、若者視点での情報発信を行います。
- 6 市民主体で童話の森・谷地を整備する仕組みをつくり、南吉童話の舞台となった里山景観の保全と新美南吉記念館の魅力向上につなげます。

関連 個別計画

- 生涯学習推進計画
- 文化芸術推進計画
- 地区公民館等長寿命化計画
- 福祉文化会館長寿命化計画
- 博物館展示整備基本方針
- 図書館運営基本計画



関連するSDGs





旧中埜家住宅



まちなかでアート 参加型ライブペイントの様子